

2019年6月1日  
第120号

発行：日本臨床検査技師連盟  
発行責任者：椛山 広美  
編集担当者：中井 規隆

日本臨床検査技師連盟ニュース

# ◆◆連盟ニュース◆◆

- 今号の主な内容
- ◇ 何故国会議員を出し必要が？
  - ◇ 医学検査学会国政報告会
  - ◇ 医学検査学会連盟プース活動

## 臨床検査技師から何故国会議員を出す必要があるのか



業務範囲の規定、名称の制限、教育人員配置の決定、診療報酬の決定など臨床検査技師の業務は法律で定められているからです。

皆様ご存じのとおり、日本臨床検査技師連盟は、今夏執行される第25回参議院議員通常選挙において、自由民主党から比例代表で立候補予定の小川しんじさん（日本衛生検査所協会理事）の支援を決定しています。現在、臨床検査業界代表の国会議員は伊達忠一参議院議員（議長）と宮島喜文参議院議員の2名ですが、今回の参議院議員選挙において、伊達議長は勇退されると聞いていますので、臨床検査業界の代表は宮島議員1名という状況になります。様々な制度・政策は政治が決めます。とりわけ、専門性の高い医療分野の制度・政策は専門職の意見を直接、国の政策につなげる取組が重要となります。

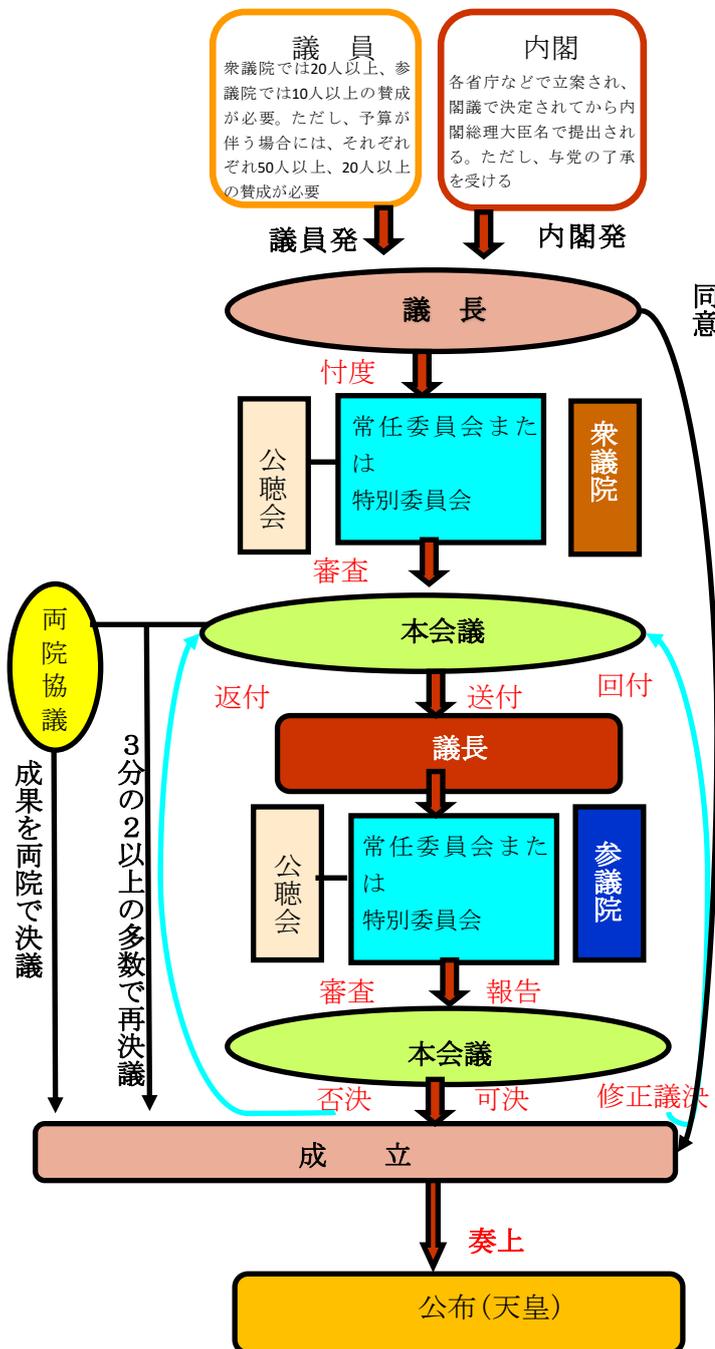
日本臨床衛生検査技師会が組織内候補を擁立するまでは、臨床検査をご理解いただける議員の皆様、組織の目指す政策を要望書として提出、働きかけるといった方法をとっていましたが、我々の考えはなかなか届きませんでした。臨床検査業界の代表が政策を議論する過程に加わっていただければ、我々の考えを政策に結び付けることができ、要望も実現できたのではないかと考えます。組織を代表する議員が必要ということはこういうことなのです。

今後、日技連の組織が大きくなり、複数の組織内候補を擁立することができれば、臨床検査業界の大きな発展につながり、わが国の医療に寄与できるものと考えています。

このような点を考えると、小川さんの政治活動を強力に支援していかなければなりません。ただ、今回、医療福祉関係の組織から多くの立候補者が出られることもあり、平成28年の宮島参議院議員が当選した時よりも獲得数を大幅に増やさないといけないと考えています。

このためには、日臨技会員並びに日技連会員の皆様のお力をさらにいただき、小川さんの政治活動の取組をより一層強化していきたいと存じますので、ご協力賜りますよう切にお願い申し上げます次第でございます。

なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。



# 第68回 日本医学検査学会 国政報告会開催される

財務大臣政務官参議院議員 宮島義文

前号でお知らせしましたとおり、去る5月18日に第68回日本医学検査学会での場において財務大臣政務官参議院議員 宮島喜文国政報告会開催報告が開催されました、当日は岡本支部長の司会のもと進行され、経緯、活動内容、この度の政務官就任を含めて紹介を行いました。テーマは、「これからの時代を生き抜くために臨床検査技師に求められるもの」とし開催いたしました。会場には200名の着席の他、立ち見が出るほどの参加者であり、盛会裏に終了しました。

宮島議員は議員活動、所属活動、国会開催中での質疑、会期中以外は、地方での活動、最近では沖縄北部特別委員会現地調査に出向き調査を行った日々の活動を紹介しました。(連盟沖縄県支部の方には大変お世話になりました。)

現在は、地域医療構想、直近では、医療法改正について10分から20分の決められた時間内で一般質疑を行っています。参議院、自民党、党の政策集団に所属し、さまざま仕事を任されています。(右表)4月8日に財務省政務官として就任した報告があり、主な業務は

- ・財務行政の執行に関する決裁
- ・参議院の委員会での答弁(予算と財政金融を除く)
- ・各種会議及び行事への代理出席・参加
- ・在京当番(毎月1週間)
- ・任期は一般的に内閣改造まで
- ・身分は特別職の国家公務員は、日臨技会長職は良いが、議決に関することは、代理を立てることとなり出来ない

## 参議院

行政監視委員会 理事  
沖縄北方問題に関する特別委員会理事  
厚生労働委員会 委員  
国際経済・外交に関する調査委員

## 自由民主党

参議院議員国会对策委員会 副委員長  
自由民主党新聞出版局 次長  
自由民主党校正関係団体委員会 副委員長  
臨床検査に関する制度促進推進議員連盟事務局長  
自由民主党長野県連合会 副会長

## 政策集団

清和政策研究会 会員  
風清会 会員

ため日臨技では、代表理事副会長が会長の代理を担っていると説明がありました。引き続き予算と税制について我が国の予算(初めて100兆円を超えている)、現状キーワード、経済諮問会議、骨太の方針2019が6月頃に方針が公表されて次年度の予算編成が始まる流れ、予算に関連しての介護保障制度に関する問題点などがあり動いているとの説明が行われた。



## 第68回日本医学検査学会において連盟ブースで加入促進活動を行いました

例年に引き続き、「海峡メッセ」連盟ブースを設置してにおいて5月18日から連盟勧誘活動を行いました。当日は日臨技役員、連盟執行委員、中四国支部長のご協力を得て人員を配置し、ブースは展示会場の入り口付近に設置していただいたため人通りが多く、約500部以上用意した案内資料はこの期間のうちに全部配布を終えました。特に若い世代らしき方々には、連盟の必要性、法的な業務の拡大を説明し、一定の理解を得られた感がありました。前年度から開始した連盟会費同時口座引き落とし用紙にも積極的に賛同していただけた方もおられ、中には我々執行部以外の方からもご意見を賜り、今後の課題の参考になりました。今年目標8000口に向けて、より一層の努力を積んでいきますので連盟会員の方はもとより、まだ加入されていない日臨技会員、臨床検査行事に関わる業界の方からの入会をお待ちしています。

